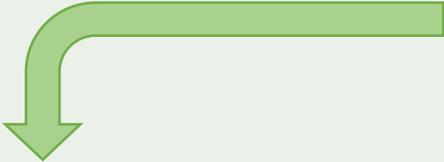




S-Net/GBIFへデータを提供するにあたり ご注意ください

国立科学博物館 標本資料センター
S-Net/GBIF担当 水沼登志恵

データ提供の事務手続き

	国立科学博物館	協力機関	提出物
1	データ変換のための予算（NBRPの外部資金による）が確保できましたら、S-Net/GBIF関係者宛のメーリングリストを通じ、今年度のデータ提供についてのアンケートフォームをご連絡します。 【4月】	データ提供が可能な機関の窓口担当の方は、フォームから提供可能件数と関連する情報をご回答ください。 【回答期限：5月16日】	【Webフォーム】データご提供可能件数アンケート
2	アンケートに回答いただいた提供可能件数を調整後、各機関へ今年度のご提供依頼件数を連絡します。 ※見積依頼書等の書類が必要と回答された機関へは追って書類を郵送します。	データ提供の同意書（新規にご参加いただく機関のみ）と見積書をご郵送ください。 【提出期限：8月末】	【様式1】データ提供同意書（新規機関のみ） 【様式2】見積書（必須）
3	見積書を受領後、契約書が必要な機関へは見積りに基づく科博と機関間の契約書の文案をお送りします。文案が確定しましたら、契約書を作成して郵送します。	契約書の文案をご確認いただき、変更の有無をご連絡ください。また、郵送された契約書の原本に押印して一部をご返送ください。 ※契約書はご機関で必要があれば締結できます。	【科博より送付】契約書（必要な機関のみ）
4	 <p>送付されたご提供データの形式や掲載済みデータとの重複有無を調べ（受付チェック）、確認や修正が必要な場合はご連絡します。</p>	S-Netの登録データ形式に変換したデータをデータチェックリストとともにメール添付かファイル転送システム等でご送付ください。 【送付期限：第1次:10月末、第2次:2月末】 ※新しい分類群のデータセット（コレクション）をご提供いただく場合は、メタデータ登録票とデータ利用権回答書を併せてご送付ください（詳細は、【参考資料A-1】と【参考資料A-2】を参照。）。	【ファイル】提供データ 【様式5】データチェックリスト 【様式7】メタデータ登録票（データセット情報の提出でも可） 【様式8】データ利用権回答書
5	ご提供データに問題がなければ「データ受領のご連絡」のメールをお送りし確定した件数をお知らせします。	受領連絡日以降の日付で確定した件数の完了通知書と請求書を作成し、請求書類チェックリストでチェックの上、原本をご郵送ください。	【様式3】完了通知書 【様式4】請求書
6	不備のない請求書類が到着しましたら、約1か月後にご指定の口座に請求金額を振り込みます。		

令和4年度のデータ提供関連日程

2022年

4月15日 標本データ提供アンケートメール送付

5月16日 標本データ提供アンケート回答期限

6月14日 データ提供依頼件数の連絡と書類・様式送付

7月初め データ提供関連資料改訂版の公開

8月末 見積書送付期限

10月末 第1回標本データ提供期限

2023年

2月末 第2回標本データ提供期限

3月末 全提供データ受領・請求処理完了

令和4年度データ提供にあたってのご注意

1. S-Net/GBIF登録データの形式

→ 5項目が追加され178項目に

2. データ変換ツール Ver.2

→ 追加項目に対応し、検証機能も強化

3. 事務局のチェックは2段階

→ 提供データの受領にあたり、

形式と件数を確認する受付チェック

→ 提供データの掲載にあたり、

詳細と絶滅危惧種を確認する内容チェック

1. S-Net/GBIF登録データの項目追加

2018年4月：“Darwin Core最新版”に準拠した、9情報群、173項目。

2022年4月：今後の機能拡張（GRSciCollとの連携、学名の名寄せ）に備え、5項目を追加し、178項目に。

No	情報群	項目 ※赤字は必須項目、「～（日本語）」の項目はS-Netでのみ使用	項目No
1	システム管理情報	管理ID、登録日時、更新日時、データセット管理番号、グローバルユニーク番号	1～5
2	基本情報	データ登録日時、 GBIF公開フラグ 、 レコード種別 、 機関名 、 機関名（日本語） 、 機関コード 、 コレクションコード 、 カタログ番号	6～13
3	オカレンス情報	採集者番号、オカレンス備考、"（日本語）、性別、"（日本語）、生活型・世代型、"（日本語）、成熟状況、"（日本語）、行動、"（日本語）、生息環境、"（日本語）、個体群成立過程、"（日本語）、処理・保存情報、"（日本語）、カタログ旧番号・別番号、画像への外部リンク、参照リンク、"（日本語）、文献、"（日本語）、塩基配列、関連分類群（ホスト情報等）、"（日本語）、過去の同定結果、"（日本語）、サンプリング方法、"（日本語）、記録年月日（始め）、記録年月日（終わり）、記録年月日オリジナル表記、記録年月日に関する備考、"（日本語）	14～48
4	位置情報	大陸、"（日本語）、水域、"（日本語）、島群、"（日本語）、島、"（日本語）、国、"（日本語）、国地域コード、都道府県、"（日本語）、郡・市区町村、"（日本語）、詳細地名、"（日本語）、地名オリジナル表記、最低海拔、最高海拔、最浅水深、最深水深、メッシュコード、緯度（十進数表記）、経度（十進数表記）、測地系、緯度経度誤差半径、緯度経度特定に関する備考、"（日本語）、 地名公開レベル 、非公開情報に関する備考、"（日本語）、位置情報に関する備考、"（日本語）	49～82

各項目の内容は「データ変換ツール利用者向けマニュアル」の4.1の表（p.18～27）を参照。 https://science-net.kahaku.go.jp/app/page/tool_download.html#!#dataconv

1. S-Net/GBIF登録データの項目追加 (続き)

No	情報群	項目	※赤字は必須項目、「～(日本語)」の項目はS-Netでのみ使用	項目No
5	分類情報	タイプ標本種別、タクソンID、 学名 、カテゴリー、 界名(学名) 、 界名(日本語名) 、門名(学名)、門名(日本語名)、綱名(学名)、綱名(日本語名)、目名(学名)、目名(日本語名)、科名(学名)、科名(日本語名)、属名(学名)、属名(日本語名)、亜属名(学名)、亜属名(日本語名)、種小名、亜種以下のタクソン、分類群ランク、学名の著者、和名、同定に関する補足情報、" (日本語)、分類群に関する備考、" (日本語)		83～ 109
6	参考情報	備考1 (公開,日本語)		110
7	非公開情報	備考2 (非公開,日本語)、備考3 (非公開,日本語)、採集・記録者(非公開)、. . . .、経度(十進数表記) (非公開)		111～ 132
8	古生物情報	上限の推定年代(累代・累界レベル)、" (日本語)、下限の推定年代(累代・累界レベル)、" (日本語)、上限の推定年代(代・界レベル)、" (日本語)、下限の推定年代(代・界レベル)、" (日本語)、上限の推定年代(紀・系レベル)、" (日本語)、下限の推定年代(紀・系レベル)、" (日本語)、上限の推定年代(世・統レベル)、" (日本語)、下限の推定年代(世・統レベル)、" (日本語)、上限の推定年代(階・期レベル)、" (日本語)、下限の推定年代(階・期レベル)、" (日本語)、生層序帯(最下位)、" (日本語)、生層序帯(最上位)、" (日本語)、岩相層序名、" (日本語)、層群、" (日本語)、層、" (日本語)、部層、" (日本語)、単層、" (日本語)		133～ 166
9	命名情報	オリジナルの学名、原記載、原記載出版年、オリジナルの分類群ランク、命名規約、分類学的ステータス、命名規約上のステータス		167～ 173
10	追加情報	機関登録 ID、コレクション登録 ID、 ジャパンサーチ公開フラグ 、 正規化学名 、 正規化和名 ※GRSciColl との連携、学名・和名の名寄せ		174～ 178

各項目の内容は「データ変換ツール利用者向けマニュアル」の4.1の表 (p.18～27) を参照。 https://science-net.kahaku.go.jp/app/page/tool_download.html#!#dataconv

2. データ変換ツール Ver.2

- 新しいS-Net/GBIF登録データ形式に対応しています。
- データ変換ツールのメニューや操作方法はVer.1と同じです。
- Ver.1と同じように入力ファイルを指定してマッピングを行うと、178項目になった登録データファイルが出力されます。
- 誤入力をチェックする検証機能が強化され、一部の文字化けも解消されました。

データの誤りワースト選（第36回研究会・細矢）

1. ● 学名が文字化け
2. ● 「地名公開レベル」が "0" 以外
3. ● 「記録年月日(始め)」「記録年月日(終わり)」が1900年以前
4. ● 学名の著者が文字化け
5. ● 機関名(日本語)の誤り
6. ● 十進の緯度経度の値が "0"
7. × 「綱」が「網」
8. ● 機関コードに誤り
9. ● 「最低海拔」と「最高海拔」逆（先頭値が空白）
10. ● 「データ登録日時」に値が入っている
11. ● 「コレクションコード」誤り
12. ● 「記録年月日(始め)」が未来日付
13. ● 「GBIF公開フラグ」"1"とあるべきが"0"
14. ● 「記録年月日(始め)」と「記録年月日(終わり)」逆
15. ● 「メッシュコード」"544070**"の"**"
16. ● 「最浅水深」と「最深水深」が逆

こんなデータは
いやだっ!!

データの誤りワースト選（第36回研究会・細矢）

1. ● 学名が文字化け
2. ● 「地名公開レベル」が”0”以外
3. ● 「記録年月日(始め)」「記録年月日(終わり)」が1900年以前
4. ● 学名の著者が文字化け
5. ● 機関名(日本語)の誤り
6. ● 十進の緯度経度の値が“0”
7. × 「綱」が「網」
8. ● 機関コードに誤り
9. ● 「最低海拔」と「最高海拔」逆(先頭値が空白)
10. ● 「データ登録日時」に値が入っている
11. ● 「コレクションコード」誤り
12. ● 「記録年月日(始め)」が未来日付
13. ● 「GBIF公開フラグ」
14. ● 「記録年月日(始
15. ● 「メッシュコード」
16. ● 「最浅水深」と「最深水深」が逆

変換ツールVer 2なら
提出前にチェック可能

以前の変換ツールで発生して
いた英字地名の文字化けも
Ver 2 で解消

3. 事務局のチェック

3.1 受付チェック

- ✓ 形式と件数を確認し、提供データを受領
→支払い処理へ

3.2 内容チェック

- ✓ 詳細と絶滅危惧種を確認し、掲載内容に反映
→S-Netサイトに掲載

3.1 受付チェック

1. データ変換ツールを使って提供データを検証
2. 掲載中のデータのカタログ番号（標本番号）との重複がないかチェック
3. データに規制種が含まれていないかチェック
4. 全データ受領後に今年度の提供件数と一致しているかチェック
 - ✓ 1～4に問題なければ、受領を完了とし請求書類を発行依頼
 - ✓ 新規機関、新規データセットの場合は必要な書類の提出確認

3.2 内容チェック

1. 提出データに内容的な不備が含まれてないか
チェック
2. 最新のレッドリストでレッドデータチェック
3. チェックの結果を提供機関にメールでご連絡

- ・内容チェックのお願い

データセットごとのチェック結果の一覧とレッドデータの希望

- ・確認依頼ファイル

提供データに科博が行った内容チェック照会項目が付加

4. レッドデータ該当種について非公開の対応

- ✓ 修正が完了後、掲載の最終確認用のファイルを送付し、掲載をご了解いただく

3.2 内容チェック

「内容チェックのお願い」の例

令和2年度S-Net/GBIF 提供データ 内容チェックのお願い									
<p>令和2年度にご提供いただいた登録データをチェックしたところ、添付の修正確認ファイル(エクセルファイル)のような照会事項がありました。つきましては、指摘のありましたデータについて、このデータでS-Net に登録して問題ないかどうか、ご確認いただき、s-net_info@kahaku.go.jp 宛にご連絡ください。エラー項目の修正などデータに変更がある場合は、修正確認ファイルに加筆・修正してご送付ください。なお、先にご郵送した「S-Net/GBIF データ提供資料の146～148ページ」に下記の説明がございますので、修正確認ファイルと合わせてご確認ください。</p> <p>【参考資料D11】(R02 提供データ)修正確認ファイルの項目と確認依頼事項 (http://science-net.kahaku.go.jp/contents/hint/RMD02_datacheck_report.pdf)</p> <p>【参考資料D12】(R02 提供データ)レッドリスト掲載種についての確認 (http://science-net.kahaku.go.jp/contents/hint/RMD02_datacheck_reddata.pdf)</p>									
S-Net 番号	機関名(日本語)	機関 コード	データセット 管理番号	データセット 略号	タイトル(日本語)	新規コレクション	提供件数	データ受領日付	ご担当者
1000	〇〇博物館	ABCD	1000-101	ABCD-PL	植物コレクション		498件	2022/2/25	博物 太郎
確認依頼ファイル							チェック担当	チェック日付	チェック完了日付
R02_1000-101_ABCD-PL498件_修正確認用_20210425.xlsx							江守、水沼	2022/4/25	
No	分類	色	件数	照会事項	ご対応依頼	備考			
1	レッドリスト掲載種		12 件	D～F列がオレンジ色のレッドデータブック掲載種はS-Net掲載時にデータ登録を行う際に非公開情報に関する備考を追記し、詳細な地名に関する項目の列を対応する非公開の項目の列へ移動します。 ※種の一覧で確認したい場合は二つ目のシートのチェックした組み合わせ(組)をご確認ください。	掲載種でも詳細地名等を公開して問題ない場合には、D～F列を塗りつぶしなしに変更し、B列に「○」とご記入ください。また、掲載種でなくても詳細地名を伏せたい場合は、D～F列をオレンジ色に塗りつぶし、B列に「○」とご記入ください。非公開処理をまとめて事務局で行ってほしい場合は[オレンジ色データ対応]シートにご記入ください。個別に非公開の対応をしたい場合は、項目を削除するか非公開項目へ移動して非公開情報に関する備考に記載し、B列に「○」とご記入ください。	ここにコメントをご記入いただけます。			
2	データの不備		2 件	KH008:記録年月日/海拔/水深の範囲が逆	始め/終わり、最高/最低、最浅/最深の見直しと修正をお願いします。修正後はB列に「○」とご記入ください。				
3	データの不備		1 件	KH004:メッシュコードが不正	メッシュコードとして正しい桁数の数字かどうか見直しと修正をお願いします。修正後はB列に「○」とご記入ください。				
4	データ内容の確認		1 件	RD0101:国名が空欄のため、レッドデータは正しくチェックされていない可能性	郡・市区町村(日本語)や詳細地名(日本語)が入力されていますが、国が空欄です。レッドチェックが必要な場合は記入してください。修正した場合はB列に「○」とご記入ください。				
5	データ内容の確認		5 件	KH105:和名にカタカナ以外の文字あり	カタカナ以外の漢字、ひらがな、記号など文字が含まれています。必要に応じて入力したものか、念のため、確認してください。修正した場合はB列に「○」とご記入ください。				
6	科博よりの修正提案		1 件	KH106:和名に含まれるカタカナ以外のよくある誤入力文字を修正	ひらがなの「へ」、漢数字の「二」などのよくある誤入力文字をカタカナに修正しました。ご確認ください。				
7	その他の連絡事項								

3.2 内容チェック

「確認依頼ファイル」の例

機関 修正あり	機関様 コメント	要 認	環境省ランク(ノは候補が複数の場合)	都道府県ランク(ノは候補が複数の場合)	レドデータ確認種(〇〇はチェックした和名で次がレドチェッカーから戻された和名と学名、ノは候補が複数の場合)※学名をご確認ください。	エラー 件数	エラー内容(確認を含む)	科博修正コメント	管理ID	登録日時	更新日時	データセッ ト管理番 号	グローバ ルユニ ク番号	デー タ登 録日 時	GBIF公開 フラグ	レコード種 別	機関名 (日本語)	機関名 (日本語)	機関コード	コレクシ ョンコ ード	カタログ番 号
4		○	-	[北海道]希少種(R)	[ナカトシベツホラトビムシ]ナカトシベツホラトビムシ <i>Lethemurus finitimus</i>	0									1	Preserved	Otaru Musi	小樽市総	OMO	NI	6063
5		○	-	[北海道]-	[ミヤマカラスアゲハ]ミヤマカラスアゲハ <i>Papilio maackii</i>	0									1	Preserved	Otaru Musi	小樽市総	OMO	NI	6064
6		○	-	[北海道]-	[ミヤマカラスアゲハ]ミヤマカラスアゲハ <i>Papilio maackii</i>	0									1	Preserved	Otaru Musi	小樽市総	OMO	NI	6065
7		○	-	[北海道]-	[ミヤマカラスアゲハ]ミヤマカラスアゲハ <i>Papilio maackii</i>	0									1	Preserved	Otaru Musi	小樽市総	OMO	NI	6066
8		○	-	[北海道]-	[ミヤマカラスアゲハ]ミヤマカラスアゲハ <i>Papilio maackii</i>	0									1	Preserved	Otaru Musi	小樽市総	OMO	NI	6067
9		○	-	[北海道]-	[ミヤマカラスアゲハ]ミヤマカラスアゲハ <i>Papilio maackii</i>	0									1	Preserved	Otaru Musi	小樽市総	OMO	NI	6068
10		○	-	[北海道]-	[ミヤマカラスアゲハ]ミヤマカラスアゲハ <i>Papilio maackii</i>	0									1	Preserved	Otaru Musi	小樽市総	OMO	NI	6074
11		○	-	[北海道]-	[ミヤマカラスアゲハ]ミヤマカラスアゲハ <i>Papilio maackii</i>	0									1	Preserved	Otaru Musi	小樽市総	OMO	NI	6075
12		○	-	[北海道]-	[ミヤマカラスアゲハ]ミヤマカラスアゲハ <i>Papilio maackii</i>	0									1	Preserved	Otaru Musi	小樽市総	OMO	NI	6076
23		○	-	[北海道]-	[ミヤマカラスアゲハ]ミヤマカラスアゲハ <i>Papilio maackii</i>	0									1	Preserved	Otaru Musi	小樽市総	OMO	NI	6199
24		○	-	絶滅危惧 I B 類 (EN)	[長野県]絶滅危惧 I 類(EN) [スジボソヤマキチョウ] <i>Gonepteryx rhamni maxima</i>	0									1	Preserved	Otaru Musi	小樽市総	OMO	NI	6564
25		○	-	[長野県]-	[スジボソヤマキチョウ] <i>Gonepteryx aspasia nipponica</i>	0									1	Preserved	Otaru Musi	小樽市総	OMO	NI	6567
26		○	-	[長野県]-	[スジボソヤマキチョウ] <i>Gonepteryx aspasia nipponica</i>	0									1	Preserved	Otaru Musi	小樽市総	OMO	NI	6569
27		○	-	[長野県]-	[スジボソヤマキチョウ] <i>Gonepteryx aspasia nipponica</i>	0									1	Preserved	Otaru Musi	小樽市総	OMO	NI	6574
28		○	-	絶滅危惧 I B 類 (EN) / 絶滅危惧 II 類(VU) / [長野県]- [長野県]-	[ヒメシロチョウ] <i>Leptidea amurensis</i> / [ヒメシロチョウ] <i>Leptidea amurensis amurensis</i> / [ヒメシロチョウ] <i>Leptidea amurensis vibilia</i>	0									1	Preserved	Otaru Musi	小樽市総	OMO	NI	6580

過去の同 定結果 (日本語)	過去の同 定結果 (日本語)	サンプリ ング方 法	サンプリ ング方 法 (日 本語)	記録年月 日 (初め り)	記録年月 日 (終わ り)	記録年月 日 (終わ り)	記録年月 日 (終わ り)	記録年月 日 (終わ り)	大陸	大陸 (日 本語)	水域	水域 (日 本語)	島群	島群 (日 本語)	島	島 (日 本語)	国	国 (日 本語)	国地域 コード	都道府県 (日本語)	都道府県 (日本語)	郡・市区 町村	郡・市区 町村 (日 本語)	詳細地名 (日本語)	地名オリ ジナル表 記	最低海拔	最高海拔	最浅水深	最深水深	メッシュ コード	緯度(十 進数表 記)	経度(十 進数表 記)
				19860204						Japan						Japan	日本	Hokkaido	北海道	Niki-cho	仁木町	Shikaribetsu	然別		43.139	140.679				43.139	140.679	
				19860220						Japan						Japan	日本	Hokkaido	北海道	Niki-cho	仁木町	Shikaribetsu	然別		43.139	140.679				43.139	140.679	
																									43.149	140.885				43.149	140.885	
																									0	140.994				0	140.994	
																									43.139	0				43.139	0	
																									43.149	141.041				43.149	141.041	
																									24.372	124.163				24.372	124.163	
																									35.779	138.139				35.779	138.139	
																									36.739	138.133				36.739	138.133	
																									36.335	138.558				36.335	138.558	

オレンジ色：レドデータ該当種

- ・ 環境省ランク、都道府県ランク、和名・学名を出力
- ・ 複数候補がある場合は、ノで区切って複数出力
- ・ 掲載種でも詳細地名等を公開して問題ない場合、または、掲載種でなくても詳細地名等を伏せたい場合にはオレンジ色を変更して対応を指示いただく
- ・ 非公開項目は提供機関側で削除または非公開項目へ移動するか、科博側での対応を希望する場合は対応項目を指示いただく

データの誤りワースト選（第36回研究会・細矢）

1. ● 学名が文字化け
2. ● 「地名公開レベル」が”0”以外
3. ● 「記録年月日(始め)」「記録年月日(終わり)」が1900年以前
4. ● 学名の著者が文字化け
5. ● 機関名(日本語)の誤り
6. ● 十進の緯度経度の値が“0”
7. × 「綱」が「網」
8. ● 機関コードに誤り
9. ● 「最低海拔」と「最高海拔」逆(先頭値が空白)
10. ● 「データ登録日時」に値が入っている
11. ● 「コレクションコード」誤り
12. ● 「記録年月日(始め)」が未来日付
13. ● 「GBIF公開フラグ」”1”とあるべきが”0”
14. ● 「記録年月日(始め)」と「記録年月日(終わり)」逆
15. ● 「メッシュコード」”544070**”の”**”
16. ● 「最浅水深」と「最深水深」が逆

内容チェックで
自動修正

データの誤りワースト選（第36回研究会・細矢）

1. ● 学名が文字化け
2. ● 「地名公開レベル」が”0”以外
3. ● 「記録年月日(始め)」「記録年月日(終わり)」が1900年以前
4. ● 学名の著者が文字化け
5. ● 機関名(日本語)の誤り
6. ● 十進の緯度経度の値が“0”
7. × 「綱」が「網」○ ○ ○
8. ● 機関コードに誤り
9. ● 「最低海拔」と「最高海拔」逆(先頭値が空白)

誤入力や
データの揺らぎは
チェックできない

誤字の例：

「埼玉県」、「西多摩群」、「硬骨魚綱」、「ルリシジミ」

揺らぎの例：

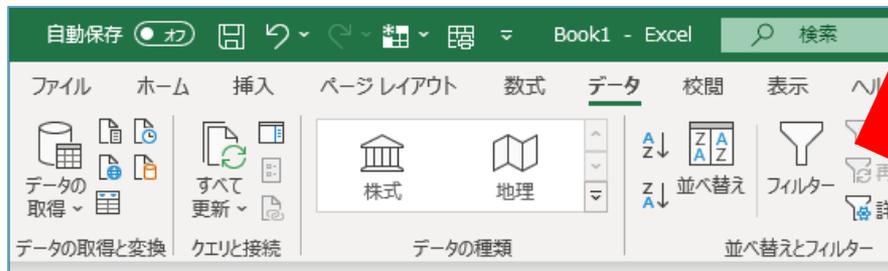
[属名(日本語)]に「ヤブソテツ属」と「ヤブソテツ」が混在

エクセル式のエラーの例：

「#VALUE」、「#N/A」

16. ● 「最浅水深」と「最深水深」が逆

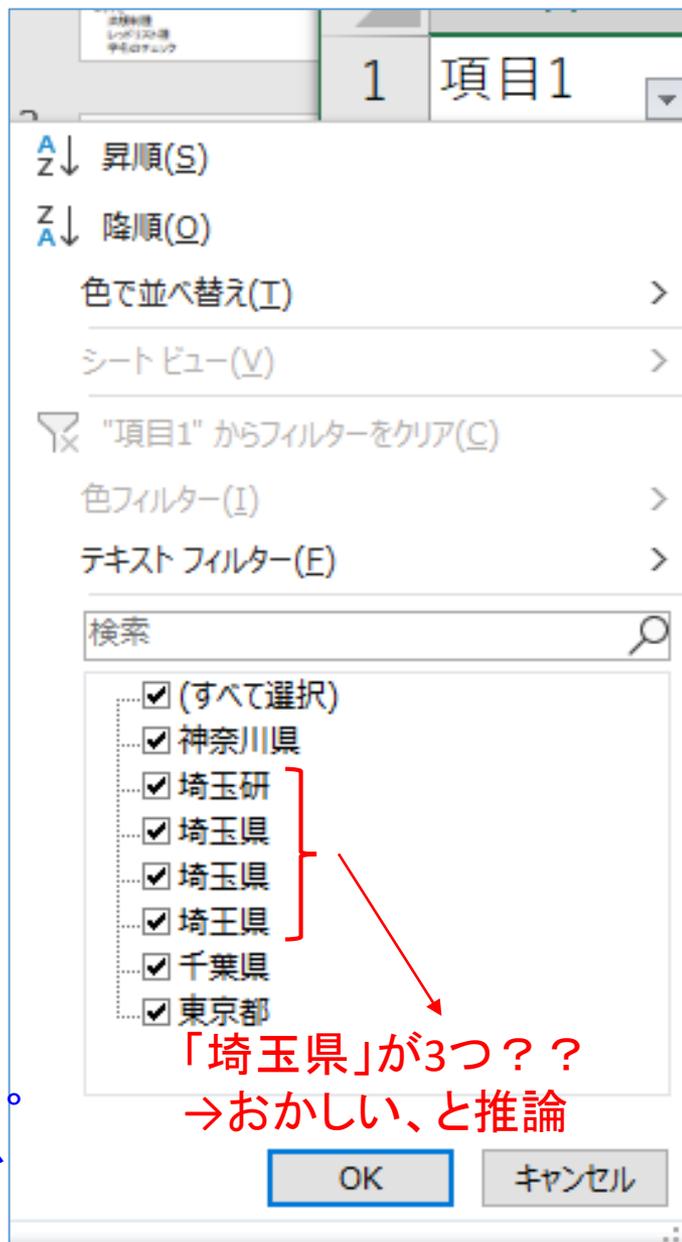
エクセルのフィルターで入力データをチェックすると効果的



Excelの「データ」タブの「フィルター」ボタンが赤い矢印で指されています。

	A	B	C	D	E
1	項目1				
2	東京都				
3	神奈川県				
4	埼玉県				
5	埼玉県				
6	埼玉研				
7	埼玉県				
8	神奈川県				
9	埼玉県				
10	千葉県				
11					

	A
1	項目1
2	東京都
3	神奈川県
4	埼玉県
5	埼玉県
6	埼玉研
7	埼玉県
8	神奈川県
9	埼玉県
10	千葉県
11	



「項目1」からフィルターをクリア(C)

色フィルター(I)

テキスト フィルター(E)

検索

- (すべて選択)
- 神奈川県
- 埼玉研
- 埼玉県
- 埼玉県
- 埼玉県
- 埼玉県
- 千葉県
- 東京都

「埼玉県」が3つ??
→おかしい、と推論

OK キャンセル

データの入力が終わったら、フィルターを使って誤入力やデータの揺らぎがないかチェックしましょう。「#VALUE」、「#N/A」、「0」などがあるときは、式の参照結果に問題があることがあります。

学名のスペルはGBIFサイトの種名マッチングでチェック

1. 学名チェック用CSVファイルを用意します。

登録データの[カタログ番号]、[学名]、[界名(学名)]の列をコピーし、1行目の列名を[occurrenceId]、[scientificName]、[kingdom]に変更します。

(S-Net/GBIF登録用データファイル)

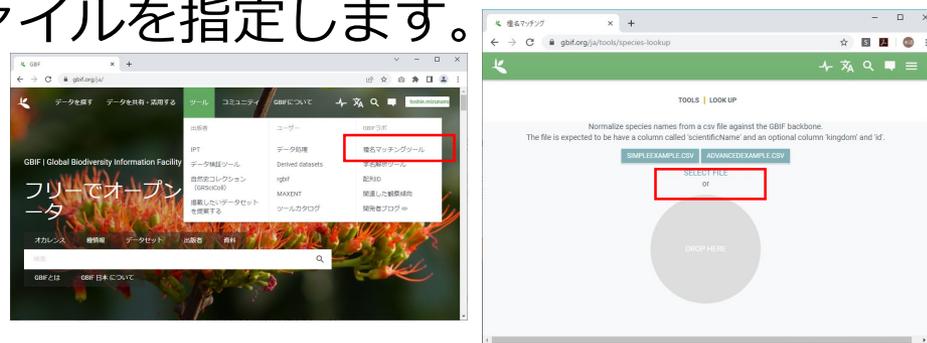
A	B	K	L	M	CF	CG	CH	CI	CK			
1	管理ID	登録日	機関コード	コレクション	カタログ番号	採集地	タクソノミ	学名	カテゴリー	界名(学名)	界名(日本)	門名(学名)
2			委員会SNHM	Aves	18676			Gallinago hardwickii (Gray)		Animalia	動物界	
3			委員会SNHM	Aves	18677			Gallinago hardwickii (Gray)		Animalia	動物界	
4			委員会SNHM	Aves	18678			Gallinago megal		Animalia	動物界	
5			委員会SNHM	Aves	18679			Numenius minutus		Animalia	動物界	
6			委員会SNHM	Aves	18680			Limnodromus semipalmatus		Animalia	動物界	

(学名チェック用CSVファイル)

A	B	C	D
1	occurrenceId	scientificName	kingdom
2	18676	Gallinago hardwickii (Gray)	Animalia
3	18677	Gallinago hardwickii (Gray)	Animalia
4	18678	Gallinago megal	Animalia
5	18679	Numenius minutus	Animalia
6	18680	Limnodromus semipalmatus	Animalia

2. GBIFの種名マッチングで1のファイルを指定します。

GBIFサイトの[ツール Tools]メニューから[種名マッチングSpecies matching]を選択し、[SELECT FILE]で1.で用意したCSVファイルを選択して、[MATCH TO GBIF BACKBONE]をクリックします。



3. マッチングの結果を確認します。

マッチングの結果が信頼度やGBIFの分類表の学名などと共に表示されます。完了後、[GENERATE CSV]を選択すると結果をCSV形式でダウンロードできます。

(ダウンロードされたマッチング結果のCSVファイル)

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
1	occurrenceId	verbatimScientificName	scientificName	key	matchType	confidence	status	rank	kingdom	phylum	class	order	family	genus	species	
2	18676	Gallinago hardwickii (Gray)	Gallinago hardwickii (J.E.Gray, 1831)	2481830	EXACT	100	ACCEPTED	SPECIES	Animalia	Chordata	Aves	Charadriifo	Scolopacidae	Gallinago	Gallinago hardwickii	
3	18677	Gallinago hardwickii (Gray)	Gallinago hardwickii (J.E.Gray, 1831)	2481830	EXACT	100	ACCEPTED	SPECIES	Animalia	Chordata	Aves	Charadriifo	Scolopacidae	Gallinago	Gallinago hardwickii	
4	18678	Gallinago megal	Gallinago megal Swinhoe, 1861	2481815	EXACT	100	ACCEPTED	SPECIES	Animalia	Chordata	Aves	Charadriifo	Scolopacidae	Gallinago	Gallinago megal	
5	18679	Numenius minutus	Numenius minutus Gould, 1841	2481782	EXACT	100	ACCEPTED	SPECIES	Animalia	Chordata	Aves	Charadriifo	Scolopacidae	Numenius	Numenius minutus	
6	18680	Limnodromus semipalmatus	Limnodromus semipalmatus (Blyth, 1848)	2481671	EXACT	100	ACCEPTED	SPECIES	Animalia	Chordata	Aves	Charadriifo	Scolopacidae	Limnodromus	Limnodromus semipalmatus	

※詳しくはS-Netサイトの「参加機関・参加検討中の機関の方へ」の「入力のヒント」にある【参考資料B34】GBIFサイトで学名をチェックをご確認ください。

第36回・第35回の資料もご利用ください

第36回 研究会 2021年2月6日

「標本データのチェックとクリーニングの技法」

- S-Netデータ提供時のデータチェックの過程（国立科学博物館 細矢 剛）
- 導入：データクリーニングとは（国立科学博物館 神保 宇嗣）
- 初心者向け：エクセル（関数、文字列結合、VLOOKUP等）（細矢）
- 中級者向け：エクセル以外のツール
（OpenRefine、ウェブツール、エディタ）（神保）

第35回 研究会 2020年11月14-15日

「GBIF関連サイトの使い方と

より品質の高いデータ提供のためのテクニック」

- データ利用編
 - 1-1) GBIF/S-Netご紹介（国立科学博物館 細矢 剛）
 - 1-2) S-Netのデータ検索とダウンロード・地図に落とす（細矢）
 - 1-3) GBIFデータのダウンロード、利用例（国立科学博物館 水沼 登志恵）
- データ提出編
 - 2-1) データクリーニングのポイント（細矢）
 - 2-2) 問題あるデータのチェックポイント（細矢）
 - 2-3) 新しいレッドデータ種チェックシステムの紹介（水沼）
 - 2-4) GBIFサイトを使った学名チェック（細矢）

過去の研究会の資料はS-Netサイトの「使い方・資料・活動実績」のページで公開しています。

最後に:

令和4年度のデータを準備される方々へお願い

- データ変換ツールVer.2をS-Netサイトからダウンロードしてマッピングを行い登録データをご用意ください。
- 入力ファイルを準備するときには、エクセルのフィルター機能を使って、各項目のデータをご確認ください。
- データ提供の手順、ツール、入力のヒントはS-Netサイトの「参加機関・参加検討中の機関の方へ」ページをご覧ください。
- S-Net形式の各項目の内容やデータ変換ツールの使い方など、ご不明な点があれば遠慮なくお問い合わせください。

皆様からのご提供データの到着をお待ちしております。

国立科学博物館S-Net/GBIF担当

神保・水沼・柿添・江守

s-net_info@kahaku.go.jp

